

## 特集 特集にあたって 台頭するブラジル

|     |  |
|-----|--|
| 著者  | 近田 亮平  |
| 権利  | Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア<br>経済研究所 / Institute of Developing<br>Economies, Japan External Trade Organization<br>(IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a> |
| 雑誌名 | ラテンアメリカレポート  |
| 巻   | 28   |
| 号   | 2  |
| ページ | 2-2  |
| 発行年 | 2011-12-20   |
| 出版者 | 日本貿易振興機構アジア経済研究所   |
| URL | <a href="http://doi.org/10.20561/00029213">http://doi.org/10.20561/00029213</a>  |



# 特集

Feature Article

# 台頭するブラジル

## 特集にあたって

ブラジルが BRICs の一角に挙げられたのは 2001 年だが、当初は「なぜブラジルが選ばれるのか？」という声も多く聞かれた。“失われた 1980 年代” やハイパー・インフレといった負の記憶が人々の間に根強く、筆者も含め“ブラジルの奇跡”を知らない世代も増え、地理的にも遠い日本では特に、このような見方が大半だったといえよう。しかしその後ブラジルは、カルドゾからルーラ、そして同国初の女性大統領ジルマへと民主的な政権交代を果たし、

2009 年には南米初のオリンピック開催国に選ばれ、2010 年には GDP 成長率が 7.5% に達するなど、世界における存在感を増大させてきた。1940 年にツヴァイクに『未来の国』と著されたブラジルは、幾重もの紆余曲折を経た後、最近ようやくその未来が到来したと評されるまでに変貌を遂げた。本号ではこのようなブラジルを特集し、台頭する国家としての新しさ、大産油国への変化を可能にするプレソルト、成長を遂げる北東部の雇用に関する 3 つの論稿を掲載する。

(近田 亮平)